

事業名 秋季企画展「三十稲場式土器とその時代」

目的 縄文時代後期に特徴的な三十稲場式土器にスポットをあて、土器群の内容や当時の文化をさぐる

実施主体 長岡市立科学博物館

参加対象 市民

参加者数 1,597人

回数 1回 **日数** 56日間 **時間**

場所 長岡市立科学博物館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	9月6日(土) ～ 11月3日(祝)	秋季企画展「三十稲場式土器とその時代」	博物館学芸員等
	内容・方法	「火焰土器」について長岡の縄文時代を代表する三十稲場式土器。約4千年前の縄文時代後期に特徴的なこれらの土器を中心に展示。	
2	期日・時間	テーマ	講師等
	10月5日(日)	講演会「三十稲場式土器とその時代」	新潟県考古学会会員
内容・方法	最新の研究成果から三十稲場式土器文化を探る(講演会と、講師による展示解説)。		
3	期日・時間	テーマ	講師等
	9月6日(土)・ 20(土)・21(日)	展示解説	博物館学芸員
内容・方法	展示の見どころを紹介		

成果 ・ 多数の来館者を得ることができ、高い関心を寄せていただくことができた。

課題 ・ 考古資料を中心とした展示・公開により、市民の教育・文化資源への興味関心をさらに持続し、高めていく。

問合せ先 長岡市立科学博物館 学芸係 (担当: 小熊博史) TEL: 0258-32-0546